

## 8 参考データ

### (1) 0日・0か月児の死亡事例について（心中以外の虐待死）

平成26年度に把握した心中以外の虐待死事例（44人）のうち、0歳児の死亡人数は27人であり、心中以外の虐待死による死亡人数全体の約6割を占めている。その中でも、生後24時間に満たない死亡と考えられる日齢0日児の死亡事例（以下「日齢0日児事例」という。）と、日齢1日以上月齢1か月未満児の死亡事例（以下「月齢0か月児事例」という。）を合わせた0日・0か月児の心中以外の虐待死事例（以下「0日・0か月児事例」という。）が0歳児の死亡事例の中でも一定の割合を占めていることを踏まえ、経年のデータとして以下に取りまとめた。

なお、平成26年度に把握した0日・0か月児事例については、第11次報告と同様、全て日齢0日児事例であったことから、第12次報告単年度の結果等については、日齢0日児事例についてのみ言及することとしている。

#### ① 0歳児及び0日・0か月児事例の発生状況

平成26年度に把握した0歳児の心中以外の虐待死事例は、27人で約6割を占めており、第1次報告以降最も高い割合となっている。

また、0歳児の死亡事例のうち0日・0か月児事例は15人で半数以上を占めている。

表8-1-1 0歳児の心中以外の虐待死事例の死亡人数の推移（心中以外の虐待死）

区分	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	第10次	第11次	第12次	総数
人数	11	23	20	20	37	39	20	23	25	22	16	27	283
割合	44.0%	46.0%	35.7%	32.8%	47.4%	58.2%	40.8%	45.1%	43.1%	43.1%	44.4%	61.4%	45.3%

※ 割合：各年次報告における心中以外の虐待死事例に占める0歳児の割合

表 8-1-2 0日・0か月児事例の死亡人数の推移と0歳児の心中以外の虐待死事例における割合

年次	0日	0か月	総数	構成割合	0歳
第1次報告	1	1	2	18.2%	11
第2次報告	6	2	8	34.8%	23
第3次報告	8	0	8	40.0%	20
第4次報告	8	1	9	45.0%	20
第5次報告	16	1	17	45.9%	37
第6次報告	22	4	26	66.7%	39
第7次報告	6	1	7	35.0%	20
第8次報告	9	3	12	52.2%	23
第9次報告	7	4	11	44.0%	25
第10次報告	11	0	11	50.0%	22
第11次報告	4	0	4	25.0%	16
第12次報告	15	0	15	55.6%	27
総数	113	17	130	45.9%	283

表 8-1-3 0日・0か月児事例の日齢別死亡人数（第12次）

区分	人数
0日	15
1～9日	0
10日以上	0
計	15

② 0日・0か月児事例の概要

ア 0日・0か月児事例の加害者

0日・0か月児事例における虐待を行った加害者について、平成26年度に把握した事例ではすべて実母であった。第1次報告から第12次報告までの累計でも、「実母」が加害者であった事例は120人であり、全体の92.3%を占めていた。一方、実父が単独の加害者となる事例は非常に少ない傾向があった。

表8-1-4 0日・0か月児事例の加害者（第12次）

区分	0日児	0か月児
実母	15	0
その他	0	0
計	15	0

表8-1-5 0日・0か月児事例の加害者（第1次から第12次報告までの累計）

区分	0日児		0か月児		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母	107	94.7%	13	76.5%	120	92.3%
実父	1	0.9%	2	11.8%	3	2.3%
実母・実父	4	3.5%	2	11.8%	6	4.6%
不明	1	0.9%	0	0.0%	1	0.8%
計	113	100.0%	17	100.0%	130	100.0%

イ 死亡につながった虐待の種類

平成26年度に把握した0日児・0か月児事例における虐待の種類は、「ネグレクト」が8人（53.3%）、「身体的虐待」が5人（33.3%）であった。

表8-1-6 0日・0か月児事例の虐待の種類

区分	第7次		第8次		第9次		第10次		第11次		第12次													
	0日児		0か月児		0日児		0か月児		0日児		0か月児													
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合												
身体的虐待	3	50.0%	1	100.0%	3	33.3%	4	100.0%	4	57.1%	3	75.0%	3	27.3%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	5	33.3%	0	0.0%
ネグレクト	3	50.0%	0	0.0%	4	44.4%	0	0.0%	2	28.6%	1	25.0%	6	54.5%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	8	53.3%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%
計	6	100.0%	1	100.0%	9	100.0%	4	100.0%	7	100.0%	4	100.0%	11	100.0%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%	15	100.0%	0	0.0%

### ウ 遺棄の有無と遺棄された場所

平成26年度に把握した0日児・0か月児事例において、すべて「遺棄あり」であり、遺棄された場所は「自宅」が10人(66.7%)であった。

表8-1-7 0日・0か月児事例における子どもが遺棄された場所(第12次)

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	0	0.0%	0	0.0%
遺棄あり	15	100.0%	0	0.0%
自宅	10	66.7%	0	0.0%
自宅外	5	33.3%	0	0.0%
計	15	100.0%	0	0.0%

表8-1-8 0日・0か月児事例における子どもの遺棄の有無と遺棄された場所

(第1次から第12次報告までの累計)

区分	0日児		0か月児		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	7	6.2%	9	52.9%	16	12.3%
遺棄あり	103	91.2%	8	47.1%	111	85.4%
自宅	49	43.4%	3	17.6%	52	40.0%
自宅外	54	47.8%	5	29.4%	59	45.4%
不明	3	2.7%	0	0.0%	3	2.3%
計	113	100.0%	17	100.0%	130	100.0%

### エ 直接の死因

第1次報告から第12次報告までの累計をみると、「窒息(絞殺以外)」による死亡事例が49人(有効割合53.8%)と最も多い傾向がみられた。

表8-1-9 0日・0か月児事例における死因(第1次から第12次報告までの累計)

区分	0日児			0か月児			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
出生後、放置	18	15.9%	23.4%	1	5.9%	7.1%	19	14.6%	20.9%
窒息(絞殺以外)	42	37.2%	54.5%	7	41.2%	50.0%	49	37.7%	53.8%
絞殺	7	6.2%	9.1%	3	17.6%	21.4%	10	7.7%	11.0%
その他	10	8.8%	13.0%	3	17.6%	21.4%	13	10.0%	14.3%
不明	36	31.9%	/	3	17.6%	/	39	30.0%	/
計	113	100.0%	100.0%	17	100.0%	100.0%	130	100.0%	100.0%

オ 事例が発覚した経緯

平成 26 年度に把握した 0 日・0 か月児事例が発覚した経緯は、「近隣住民・知人が遺体を発見」が 6 人（40.0%）であった。「その他」としては、「祖母が実母の体調異変に気づき、受診させたところ出産したことが判明」や「近隣からの情報により警察が事情聴取したことで判明」等があった。

表 8-1-10 0 日・0 か月児事例が発覚した経緯（第 12 次）

区分	0 日児		0 か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
近隣住民・知人が遺体を発見	6	40.0%	0	0.0%
家族その他の同居者が遺体を発見	3	20.0%	0	0.0%
その他	6	40.0%	0	0.0%
計	15	100.0%	0	0.0%

カ 出産した場所

0 日・0 か月児事例における実母が本児を出産した場所について、第 1 次報告から第 12 次報告までの累計で見ると、0 日・0 か月児事例全体における「自宅」での出産が 81 人（有効割合 69.2%）、特に、日齢 0 日児事例における「自宅」での出産が 77 人（同 77.0%）と高い割合を占めていた。同じく、日齢 0 日児事例では、第 1 次報告から第 12 次報告までの累計をみても、医療機関での出産はなかった。

表 8-1-11 0 日・0 か月児事例における出産場所（第 1 次から第 12 次報告までの累計）

区分	0 日児			0 か月児			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅	77	68.1%	77.0%	4	23.5%	23.5%	81	62.3%	69.2%
自宅外	23	20.4%	23.0%	4	23.5%	23.5%	27	20.8%	23.1%
医療機関	0	0.0%	0.0%	9	52.9%	52.9%	9	6.9%	7.7%
不明	13	11.5%		0	0.0%		13	10.0%	
計	113	100.0%	100.0%	17	100.0%	100.0%	130	100.0%	100.0%

表8-1-12 0日・0か月児事例における自宅内での出産場所（第1次から第12次報告までの累計）

区分	0日児		0か月児		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
トイレ	29	37.7%	0	0.0%	29	35.8%
風呂場	9	11.7%	0	0.0%	9	11.1%
その他	5	6.5%	1	25.0%	6	7.4%
不明	34	44.2%	3	75.0%	37	45.7%
計	77	100.0%	4	100.0%	81	100.0%

③ 0日・0か月児事例における養育者の状況

ア 実母の年齢

0日・0か月児事例における実母の年齢について、平成26年度に把握した事例では、「19歳以下」「25～29歳」がそれぞれ5人（33.3%）であった。

また、第1次報告から第12次報告までの累計でみると、0日・0か月児事例の実母の年齢は、日齢0日児事例では、「19歳以下」が31人（有効割合27.9%）で最も多く、月齢0か月児事例では、「35～39歳」が8人（同47.1%）と最も多かった。日齢0日児事例においては、実母の年齢が若いという特徴がみられている。

表8-1-13 0日・0か月児事例における実母の年齢（第12次）

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
19歳以下	5	33.3%	0	0.0%
20～24歳	2	13.3%	0	0.0%
25～29歳	5	33.3%	0	0.0%
30～34歳	0	0.0%	0	0.0%
35～39歳	1	6.7%	0	0.0%
40歳以上	2	13.3%	0	0.0%
計	15	100.0%	0	0.0%

表8-1-14 0日・0か月児事例の実母の年齢（第1次から第12次報告までの累計）

区分	0日児			0か月児			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	31	27.4%	27.9%	3	17.6%	17.6%	34	26.2%	26.6%
20-24歳	20	17.7%	18.0%	2	11.8%	11.8%	22	16.9%	17.2%
25-29歳	19	16.8%	17.1%	1	5.9%	5.9%	20	15.4%	15.6%
30-34歳	15	13.3%	13.5%	3	17.6%	17.6%	18	13.8%	14.1%
35-39歳	16	14.2%	14.4%	8	47.1%	47.1%	24	18.5%	18.8%
40歳以上	10	8.8%	9.0%	0	0.0%	0.0%	10	7.7%	7.8%
不明	2	1.8%		0	0.0%		2	1.5%	
計	113	100.0%	100.0%	17	100.0%	100.0%	130	100.0%	100.0%

イ 実母の世帯の状況について

0日・0か月児事例における実母の世帯の状況について、平成26年度に把握した事例では、「一人親（未婚）」が9人（有効割合64.3%）と最も多く、次いで「実父母」「一人親（離婚）」が2人（同14.3%）であった。初産婦、経産婦別にみると、初産婦6人はすべて「一人親（未婚）」であった。

また、祖父母の同居者の有無については、「同居あり」が9人（同69.2%）で、「母方祖父母」「母方祖母」がそれぞれ4人（同30.8%）、次いで「父方祖父母」が1例（同7.7%）であった。

表8-1-15 0日・0か月児事例における実母の世帯の状況（第12次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実父母	2	13.3%	14.3%	0	0.0%	0.0%
一人親（離婚）	2	13.3%	14.3%	0	0.0%	0.0%
一人親（未婚）	9	60.0%	64.3%	0	0.0%	0.0%
一人親（別居）	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
内縁関係	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
その他	1	6.7%	7.1%	0	0.0%	0.0%
不明	1	6.7%		0	0.0%	
計	15	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

表8-1-16 初産婦・経産婦における実母の世帯の状況（第12次）

区分	初産婦		経産婦		不明	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実父母	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%
一人親（離婚）	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%
一人親（未婚）	6	100.0%	2	28.6%	1	50.0%
一人親（別居）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
内縁関係	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%
計	6	100.0%	7	100.0%	2	100.0%

表8-1-17 0日・0か月児事例における祖父母との同居状況（第12次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
同居なし	4	26.7%	30.8%	0	0.0%	0.0%
同居あり	9	60.0%	69.2%	0	0.0%	0.0%
母方祖父母	4	26.7%	30.8%	0	0.0%	0.0%
父方祖父母	1	6.7%	7.7%	0	0.0%	0.0%
母方祖母	4	26.7%	30.8%	0	0.0%	0.0%
不明	2	13.3%		0	0.0%	
計	15	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

## ウ 実母の世帯の経済状況について

0日・0か月児事例における実母の世帯の経済状況について、平成26年度に把握した事例では、当該世帯の家計を支えている者は「実母自身」が4人（有効割合36.4%）と多く、実母の就業状況は「パート」が7人（同53.8%）と最も多かった。

表8-1-18 当該世帯の家計を支えている者（第12次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実母自身	4	26.7%	36.4%	0	0.0%	0.0%
実父	1	6.7%	9.1%	0	0.0%	0.0%
母方祖母	3	20.0%	27.3%	0	0.0%	0.0%
母方祖父	1	6.7%	9.1%	0	0.0%	0.0%
その他	2	13.3%	18.2%	0	0.0%	0.0%
不明	4	26.7%		0	0.0%	
計	15	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

表 8-1-19 世帯収入の状況 (第 12 次)

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
生活保護世帯	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
市町村民税非課税世帯	3	20.0%	60.0%	0	0.0%	0.0%
市町村民税課税世帯 (年収500万円未満)	2	13.3%	40.0%	0	0.0%	0.0%
年収500万円以上	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	10	66.7%		0	0.0%	
計	15	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

表 8-1-20 実母の就業状況 (第 12 次)

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
無職	4	26.7%	30.8%	0	0.0%	0.0%
フルタイム	2	13.3%	15.4%	0	0.0%	0.0%
パート	7	46.7%	53.8%	0	0.0%	0.0%
不明	2	13.3%		0	0.0%	
計	15	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

エ 実母の妊娠期における問題について

0日・0か月児事例における実母の妊娠期の問題については、「望まない妊娠／計画していない妊娠」と「妊婦健康診査未受診」がそれぞれ14人(93.3%)であった。

表 8-1-21 0日・0か月児事例における実母の妊娠期の問題 (複数回答) (第 12 次)

区分	0日児(15人)		0か月児(0人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
望まない妊娠／計画していない妊娠	14	93.3%	0	0.0%
若年(10代)妊娠	5	33.3%	0	0.0%
母子健康手帳の未発行	12	80.0%	0	0.0%
妊婦健康診査未受診	14	93.3%	0	0.0%

表 8-1-22 初産婦・経産婦における実母の妊娠期の問題 (複数回答) (第 12 次)

区分	初産婦(6人)		経産婦(7人)		不明(2人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
望まない妊娠/計画していない妊娠	6	100.0%	6	85.7%	2	100.0%
若年(10代)妊娠	3	50.0%	0	0.0%	2	100.0%
母子健康手帳の未発行	5	83.3%	6	85.7%	1	50.0%
妊婦健康診査未受診	6	100.0%	7	100.0%	1	50.0%

オ 実父の状況について

0日・0か月児事例における実父の状況について、平成 26 年度に把握した事例では、本児の実父は「いない」が 3 人 (20.0%)、「不明」が 5 人 (33.3%) であった。

また、第 1 次報告から第 12 次報告までの累計でも、妊娠後から出産までの間の実父の存在が確認できない事例が非常に多く、そのため、実父の年齢が「不明」である事例は 79 人 (75.2%) と、日齢 0 日児事例全体の 7 割以上を占め、0日・0か月児事例においても合計数 84 人 (68.9%) と全体の 7 割近くを占めるなど、実父に関する詳細な情報が得られる事例は少なかった。

表 8-1-23 0日・0か月児事例の実父の状況 (第 12 次)

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
いる(同居)	2	13.3%	20.0%	0	0.0%	0.0%
いる(別居)	5	33.3%	50.0%	0	0.0%	0.0%
いない	3	20.0%	30.0%	0	0.0%	0.0%
不明	5	33.3%		0	0.0%	
計	15	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

表 8-1-24 0日・0か月児事例の実父の年齢（第1次から第12次報告までの累計）

区分	0日児			0か月児			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	7	6.7%	26.9%	1	5.9%	8.3%	8	6.6%	21.1%
20-24歳	4	3.8%	15.4%	2	11.8%	16.7%	6	4.9%	15.8%
25-29歳	1	1.0%	3.8%	0	0.0%	0.0%	1	0.8%	2.6%
30-34歳	2	1.9%	7.7%	2	11.8%	16.7%	4	3.3%	10.5%
35-39歳	2	1.9%	7.7%	3	17.6%	25.0%	5	4.1%	13.2%
40歳以上	10	9.5%	38.5%	4	23.5%	33.3%	14	11.5%	36.8%
不明	79	75.2%		5	29.4%		84	68.9%	
計	105	100.0%	100.0%	17	100.0%	100.0%	122	100.0%	100.0%

※実父の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

④ 0日・0か月児事例における行政機関の関与状況

0日・0か月児事例における行政機関の関与状況について、平成26年度に把握した事例では、「家庭児童相談室」「医療機関」の関与があった事例がそれぞれ3人（20.0%）、次いで「市町村（虐待対応担当部署）」「福祉事務所」「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」の関与があった事例がそれぞれ2人（13.3%）であった。

表 8-1-25 0日・0か月児事例の関係機関の関与あり（第12次）

区分	0日児（15人）		0か月児（0人）	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所	1	6.7%	0	0.0%
市町村（虐待対応担当部署）	2	13.3%	0	0.0%
福祉事務所	2	13.3%	0	0.0%
家庭児童相談室	3	20.0%	0	0.0%
児童委員	0	0.0%	0	0.0%
保健所	0	0.0%	0	0.0%
市町村の母子保健担当部署（保健センター等）	2	13.3%	0	0.0%
養育機関・教育機関	0	0.0%	0	0.0%
医療機関	3	20.0%	0	0.0%
助産師	0	0.0%	0	0.0%
警察	1	6.7%	0	0.0%
婦人相談所	0	0.0%	0	0.0%

## (2) 精神疾患のある養育者における事例について

### ① 精神疾患のある実母における事例の発生状況

本報告書において、「精神疾患のある養育者」とは、医師による診断のある者とする（以下、「精神疾患あり」と表記）。一方、精神疾患に関する診断名がついていない養育者（その疑いや可能性のある場合を含む）については、「精神疾患のない養育者」（以下、「精神疾患なし」と表記）とし、それ以外の者は「不明」とする。

精神疾患のある養育者の中で実母が加害者であった（以下、「精神疾患のある実母」という。）事例について、第5次報告から第12次報告までの累計では94例（102人）であった。そのうち、心中以外の虐待死事例は40例（41人）、心中による虐待死事例は54例（61人）であった。

一方、精神疾患のない養育者の中で実母が加害者であった（以下、「精神疾患のない実母」という。）事例数と死亡した子どもの人数は、第5次報告から第12次報告までの累計では169例（187人）であり、そのうち、心中以外の虐待死事例は120例（123人）、心中による虐待死事例は49例（64人）であった。

表8-2-1 虐待の加害者が実母であった事例とその子どもの死亡人数の推移

年次	心中以外の虐待死						心中による虐待死(未遂含む)						総数	
	精神疾患あり		精神疾患なし		不明		精神疾患あり		精神疾患なし		不明			
	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数
第5次報告	7	7	10	10	29	33	5	5	6	9	22	35	79	99
第6次報告	2	2	18	19	25	25	7	7	8	10	16	23	76	86
第7次報告	2	2	16	16	15	17	2	3	5	6	10	12	50	56
第8次報告	7	7	7	7	17	20	13	14	6	9	8	10	58	67
第9次報告	6	6	24	26	9	9	8	9	7	10	11	17	65	77
第10次報告	7	8	15	15	19	19	7	9	4	4	12	16	64	71
第11次報告	4	4	14	14	6	6	5	5	7	8	5	7	41	44
第12次報告	5	5	16	16	12	13	7	9	6	8	5	6	51	57
計	40	41	120	123	132	142	54	61	49	64	89	126	484	557

## ② 実母の状況

### ア 診断名（疾病、傷害及び死因分類）

精神疾患のある実母の診断名（疾病、傷害及び死因分類）について、第5次報告から第12次報告の累計をみると、心中以外の虐待死事例では、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が20例と最も多く、心中による虐待死事例では、「うつ病」や「双極性感情障害」といった「気分[感情]障害」が30例と最も多かった。

なお、「詳細不明の精神障害」となっているものは、精神科の受診歴はあるが、行政が正確な診断名を把握していないもの、あるいは検査中などの理由で確定診断がつけられる前に虐待死事例が発生したものが含まれている。

表8-2-2 精神疾患のある実母の診断名（疾病、傷害及び死因分類）（複数回答）<sup>注1)</sup>

（第5次から第12次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死 (40例)	心中による虐待死(未遂含む) (54例)
症状性を含む器質性精神障害	0	0
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0	0
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	20	11
気分[感情]障害	17	30
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	8	13
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	4	3
成人の人格及び行動の障害	3	1
知的障害<精神発達遅滞>	1	0
心理的発達の障害	0	1
小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0	0
詳細不明の精神障害	4	5

<sup>注1)</sup> 回答のあった診断名について、世界保健機関（WHO）により定められた「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改訂」（ICD-10）に基づいて我が国で使用する「疾病、傷害及び死因分類」をもとに分類した。

## イ 子どもの死亡時における実母の年齢

子どもの死亡時における実母の年齢について、第5次報告から第12次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「35歳～39歳」が11例（27.5%）と最も多く、次いで「30歳～34歳」が10例（25.0%）であった。また、心中による虐待死事例は、「35歳～39歳」が19例（35.2%）と最も多く、次いで「40歳以上」が16例（29.6%）であった。特に、30歳以上が全体の約8割近くを占めていた。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「20歳～24歳」が38例（31.7%）と最も多く、次いで「25歳～29歳」が29例（24.2%）、「35歳～39歳」が21例（17.5%）であった。心中による虐待死事例は、「30歳～34歳」が16例（32.7%）と最も多く、次いで「35歳～39歳」「40歳以上」がそれぞれ13例（26.5%）であった。

なお、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、年齢の高い傾向にある。

表8-2-3-1 子どもの死亡時における実母の年齢 **(精神疾患あり)**

(第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
19歳以下	1	2.5%	0	0.0%	1	1.1%
20歳～24歳	2	5.0%	2	3.7%	4	4.3%
25歳～29歳	8	20.0%	9	16.7%	17	18.1%
30歳～34歳	10	25.0%	8	14.8%	18	19.1%
35歳～39歳	11	27.5%	19	35.2%	30	31.9%
40歳以上	8	20.0%	16	29.6%	24	25.5%
計	40	100.0%	54	100.0%	94	100.0%

表 8-2-3-2 子どもの死亡時における実母の年齢 (精神疾患なし)

(第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
19歳以下	10	8.3%	2	4.1%	12	7.1%
20歳～24歳	38	31.7%	1	2.0%	39	23.1%
25歳～29歳	29	24.2%	4	8.2%	33	19.5%
30歳～34歳	14	11.7%	16	32.7%	30	17.8%
35歳～39歳	21	17.5%	13	26.5%	34	20.1%
40歳以上	8	6.7%	13	26.5%	21	12.4%
計	120	100.0%	49	100.0%	169	100.0%

#### ウ 実母の妊娠期・周産期の問題

実母の妊娠期・周産期の問題について、第5次報告から第12次報告までの累計で見ると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「望まない妊娠／計画していない妊娠」が11人(26.8%)と最も多く、次いで「妊婦健診未受診」が8人(19.5%)であった。また、心中による虐待死事例は、「マタニティブルーズ」が6人(9.8%)で最も多かった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「望まない妊娠／計画していない妊娠」が54人(43.9%)、次いで「妊婦健診未受診」が44人(35.8%)であった。

なお、精神疾患のある実母における事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、「マタニティブルーズ」の割合が高い傾向にある。

表8-2-4-1 妊娠期・周産期の問題 **(精神疾患あり)** (複数回答)

(第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (41人)		心中による虐待死(未遂含む) (61人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	1	2.4%	2	3.3%
妊娠高血圧症候群	2	4.9%	2	3.3%
喫煙の常習	5	12.2%	3	4.9%
アルコールの常習	2	4.9%	1	1.6%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等	0	0.0%	0	0.0%
マタニティブルー	4	9.8%	6	9.8%
望まない妊娠／計画していない妊娠	11	26.8%	2	3.3%
若年(10代)妊娠	3	7.3%	2	3.3%
お腹をたたく等の墮胎行為	0	0.0%	0	0.0%
母子健康手帳の未発行	2	4.9%	1	1.6%
妊婦健診未受診	8	19.5%	1	1.6%
胎児虐待	2	4.9%	0	0.0%
その他	1	2.4%	1	1.6%

表8-2-4-2 妊娠期・周産期の問題 **(精神疾患なし)** (複数回答)

(第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (123人)		心中による虐待死(未遂含む) (64人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	12	9.8%	4	6.3%
妊娠高血圧症候群	2	1.6%	1	1.6%
喫煙の常習	18	14.6%	3	4.7%
アルコールの常習	8	6.5%	0	0.0%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等	0	0.0%	0	0.0%
マタニティブルー	4	3.3%	2	3.1%
望まない妊娠／計画していない妊娠	54	43.9%	2	3.1%
若年(10代)妊娠	31	25.2%	1	1.6%
お腹をたたく等の墮胎行為	0	0.0%	0	0.0%
母子健康手帳の未発行	33	26.8%	1	1.6%
妊婦健診未受診	44	35.8%	3	4.7%
胎児虐待	11	8.9%	0	0.0%
その他	3	2.4%	0	0.0%

### ③ 精神疾患のある実母における事例の概要

#### ア 死亡につながった虐待の種類

死亡につながった虐待の種類について、第5次報告から第12次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「身体的虐待」が30人（有効割合 81.1%）、「ネグレクト」が7人（同 18.9%）であり、心中による虐待死事例では、「身体的虐待」が60人（同 100.0%）であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「身体的虐待」が68人（同 58.6%）、次いで「ネグレクト」が48人（同 41.4%）であり、心中による虐待死事例は、「身体的虐待」が64人（同 100.0%）であった。

なお、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、直接の死因として身体的虐待が全体に占める割合が高い傾向にある。

表8-2-5-1 実母による虐待の種類（精神疾患あり）（第5次から第12次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	30	73.2%	81.1%	60	98.4%	100.0%	90	88.2%	92.8%
ネグレクト	7	17.1%	18.9%	0	0.0%	0.0%	7	6.9%	7.2%
心理的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
性的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	4	9.8%		1	1.6%		5	4.9%	
計	41	100.0%	100.0%	61	100.0%	100.0%	102	100.0%	100.0%

表8-2-5-2 実母による虐待の種類（精神疾患なし）（第5次から第12次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	68	55.3%	58.6%	64	100.0%	100.0%	132	70.6%	73.3%
ネグレクト	48	39.0%	41.4%	0	0.0%	0.0%	48	25.7%	26.7%
心理的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
性的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	7	5.7%		0	0.0%		7	3.7%	
計	123	100.0%	100.0%	64	100.0%	100.0%	187	100.0%	100.0%

## イ 直接の死因

直接の死因について、第5次報告から第12次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、死因が判明したものうち、「頸部絞扼による窒息」が10人（有効割合27.8%）で最も多く、次いで「頭部外傷」が4人（同11.1%）であった。また、心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が24人（同40.0%）で最も多く、次いで「中毒（火災によるものを除く）」が12人（同20.0%）であった。

一方、精神疾患のない実母による心中以外の虐待死事例では、「頭部外傷」が25人（同23.8%）で最も多く、次いで「頸部絞扼以外による窒息」が19人（同18.1%）であった。

また、心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が19人（同29.7%）で最も多く、次いで、「中毒（火災によるものを除く）」が12人（同18.8%）であった。

年齢別の直接死因についてみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例の中では、10人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「0歳」「1歳」がそれぞれ3人であった。心中による虐待死事例においても、「頸部絞扼による窒息」が24人と最も多く、「4歳」が4人、「6歳」が3人であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、25人と最も多い「頭部外傷」において、「0歳」が11人、「1歳」が7人であった。心中による虐待死事例は、19人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「0歳」、「1歳」、「8歳」がそれぞれ3人であった。

表8-2-6-1 直接の死因 **(精神疾患あり)**

(第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	4	9.8%	11.1%	1	1.6%	1.7%	5	4.9%	5.2%
胸部外傷	3	7.3%	8.3%	1	1.6%	1.7%	4	3.9%	4.2%
腹部外傷	1	2.4%	2.8%	3	4.9%	5.0%	4	3.9%	4.2%
外傷性ショック	2	4.9%	5.6%	2	3.3%	3.3%	4	3.9%	4.2%
頸部絞扼による窒息	10	24.4%	27.8%	24	39.3%	40.0%	34	33.3%	35.4%
頸部絞扼以外による窒息	3	7.3%	8.3%	2	3.3%	3.3%	5	4.9%	5.2%
溺水	3	7.3%	8.3%	4	6.6%	6.7%	7	6.9%	7.3%
熱傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
車中放置による熱中症・脱水	2	4.9%	5.6%	0	0.0%	0.0%	2	2.0%	2.1%
中毒(火災によるものを除く)	0	0.0%	0.0%	12	19.7%	20.0%	12	11.8%	12.5%
出血性ショック	1	2.4%	2.8%	4	6.6%	6.7%	5	4.9%	5.2%
低栄養による衰弱	1	2.4%	2.8%	0	0.0%	0.0%	1	1.0%	1.0%
脱水	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
凍死	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	1	2.4%	2.8%	3	4.9%	5.0%	4	3.9%	4.2%
病死	1	2.4%	2.8%	0	0.0%	0.0%	1	1.0%	1.0%
その他	4	9.8%	11.1%	4	6.6%	6.7%	8	7.8%	8.3%
不明	5	12.2%		1	1.6%		6	5.9%	
計	41	100.0%	100.0%	61	100.0%	100.0%	102	100.0%	100.0%

表8-2-6-2 直接の死因 **(精神疾患なし)**

(第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	25	20.3%	23.8%	4	6.3%	6.3%	29	15.5%	17.2%
胸部外傷	0	0.0%	0.0%	2	3.1%	3.1%	2	1.1%	1.2%
腹部外傷	4	3.3%	3.8%	1	1.6%	1.6%	5	2.7%	3.0%
外傷性ショック	1	0.8%	1.0%	2	3.1%	3.1%	3	1.6%	1.8%
頸部絞扼による窒息	10	8.1%	9.5%	19	29.7%	29.7%	29	15.5%	17.2%
頸部絞扼以外による窒息	19	15.4%	18.1%	0	0.0%	0.0%	19	10.2%	11.2%
溺水	12	9.8%	11.4%	9	14.1%	14.1%	21	11.2%	12.4%
熱傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
車中放置による熱中症・脱水	3	2.4%	2.9%	0	0.0%	0.0%	3	1.6%	1.8%
中毒(火災によるものを除く)	0	0.0%	0.0%	12	18.8%	18.8%	12	6.4%	7.1%
出血性ショック	1	0.8%	1.0%	5	7.8%	7.8%	6	3.2%	3.6%
低栄養による衰弱	6	4.9%	5.7%	0	0.0%	0.0%	6	3.2%	3.6%
脱水	2	1.6%	1.9%	0	0.0%	0.0%	2	1.1%	1.2%
凍死	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	12	9.8%	11.4%	8	12.5%	12.5%	20	10.7%	11.8%
病死	3	2.4%	2.9%	0	0.0%	0.0%	3	1.6%	1.8%
その他	7	5.7%	6.7%	2	3.1%	3.1%	9	4.8%	5.3%
不明	18	14.6%		0	0.0%		18	9.6%	
計	123	100.0%	100.0%	64	100.0%	100.0%	187	100.0%	100.0%

表8-2-7-1 年齢別の直接死因（精神疾患あり）（第5次から第12次報告までの累計）（心中以外）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
胸部外傷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
腹部外傷	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外傷性ショック	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
頸部絞扼による窒息	3	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10
頸部絞扼以外による窒息	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
溺水	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車中放置による熱中症・脱水	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
中毒(火災によるものを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出血性ショック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
低栄養による衰弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
病死	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
不明	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
計	16	6	3	4	1	1	1	1	0	2	0	1	2	0	1	0	0	1	1	41

表8-2-7-2 年齢別の直接死因（精神疾患あり）（第5次から第12次報告までの累計）（心中）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	総数
頭部外傷	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胸部外傷	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腹部外傷	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
外傷性ショック	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
頸部絞扼による窒息	1	2	2	0	4	2	3	0	2	2	1	1	2	1	1	0	0	0	24
頸部絞扼以外による窒息	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
溺水	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車中放置による熱中症・脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中毒(火災によるものを除く)	1	1	0	2	0	0	3	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	12
出血性ショック	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
低栄養による衰弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
病死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	7	4	3	7	4	6	7	2	4	5	2	3	4	1	1	1	0	0	61

表8-2-8-1 年齢別の直接死因（精神疾患なし）（第5次から第12次報告までの累計）（心中以外）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	11	7	1	1	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	25
胸部外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部外傷	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
外傷性ショック	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
頸部絞扼による窒息	4	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	10
頸部絞扼以外による窒息	14	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
溺水	9	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車中放置による熱中症・脱水	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
中毒(火災によるものを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出血性ショック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
低栄養による衰弱	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
脱水	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
凍死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0	0	3	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
病死	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	3	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
不明	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	18
計	61	20	9	11	8	5	1	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	2	123

表8-2-8-2 年齢別の直接死因（精神疾患なし）（第5次から第12次報告までの累計）（心中）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
胸部外傷	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
腹部外傷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外傷性ショック	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
頸部絞扼による窒息	3	3	1	1	1	2	0	0	3	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	19
頸部絞扼以外による窒息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溺水	3	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車中放置による熱中症・脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中毒(火災によるものを除く)	1	1	1	0	2	2	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	12
出血性ショック	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
低栄養による衰弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	8
病死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	7	4	5	5	5	3	6	6	1	4	2	1	1	1	0	0	1	0	64

### ウ 死亡時の子どもの年齢

死亡時の子どもの年齢について、第5次報告から第12次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「0歳」が16人（有効割合40.0%）と最も多く、次いで「1歳」が6人（同15.0%）、「3歳」が4人（10.0%）であった。また、心中による虐待死事例では、「0歳」が際立って多いという特徴は認められず、概ねどの年齢でも発生している。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「0歳」が61人（有効割合50.4%）と最も多く、次いで「1歳」が20人（同16.5%）であり、心中による虐待死事例では、「0歳」が12人（同18.8%）と最も多く、次いで「1歳」が7人（同10.9%）であった。

表8-2-9-1 子どもの死亡時の年齢(精神疾患あり) (第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
0歳	16	39.0%	40.0%	7	11.5%	11.5%	23	22.5%	22.8%
1歳	6	14.6%	15.0%	4	6.6%	6.6%	10	9.8%	9.9%
2歳	3	7.3%	7.5%	3	4.9%	4.9%	6	5.9%	5.9%
3歳	4	9.8%	10.0%	7	11.5%	11.5%	11	10.8%	10.9%
4歳	1	2.4%	2.5%	4	6.6%	6.6%	5	4.9%	5.0%
5歳	1	2.4%	2.5%	6	9.8%	9.8%	7	6.9%	6.9%
6歳	1	2.4%	2.5%	7	11.5%	11.5%	8	7.8%	7.9%
7歳	1	2.4%	2.5%	2	3.3%	3.3%	3	2.9%	3.0%
8歳	0	0.0%	0.0%	4	6.6%	6.6%	4	3.9%	4.0%
9歳	2	4.9%	5.0%	5	8.2%	8.2%	7	6.9%	6.9%
10歳	0	0.0%	0.0%	2	3.3%	3.3%	2	2.0%	2.0%
11歳	1	2.4%	2.5%	3	4.9%	4.9%	4	3.9%	4.0%
12歳	2	4.9%	5.0%	4	6.6%	6.6%	6	5.9%	5.9%
13歳	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.6%	1	1.0%	1.0%
14歳	1	2.4%	2.5%	1	1.6%	1.6%	2	2.0%	2.0%
15歳	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.6%	1	1.0%	1.0%
16歳	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
17歳	1	2.4%	2.5%	0	0.0%	0.0%	1	1.0%	1.0%
不明	1	2.4%		0	0.0%		1	1.0%	
計	41	100.0%	100.0%	61	100.0%	100.0%	102	100.0%	100.0%

表8-2-9-2 子どもの死亡時の年齢 (精神疾患なし) (第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
0歳	61	49.6%	50.4%	12	18.8%	18.8%	73	39.0%	39.5%
1歳	20	16.3%	16.5%	7	10.9%	10.9%	27	14.4%	14.6%
2歳	9	7.3%	7.4%	4	6.3%	6.3%	13	7.0%	7.0%
3歳	11	8.9%	9.1%	5	7.8%	7.8%	16	8.6%	8.6%
4歳	8	6.5%	6.6%	5	7.8%	7.8%	13	7.0%	7.0%
5歳	5	4.1%	4.1%	5	7.8%	7.8%	10	5.3%	5.4%
6歳	1	0.8%	0.8%	3	4.7%	4.7%	4	2.1%	2.2%
7歳	2	1.6%	1.7%	6	9.4%	9.4%	8	4.3%	4.3%
8歳	0	0.0%	0.0%	6	9.4%	9.4%	6	3.2%	3.2%
9歳	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.6%	1	0.5%	0.5%
10歳	1	0.8%	0.8%	4	6.3%	6.3%	5	2.7%	2.7%
11歳	2	1.6%	1.7%	2	3.1%	3.1%	4	2.1%	2.2%
12歳	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.6%	1	0.5%	0.5%
13歳	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.6%	1	0.5%	0.5%
14歳	1	0.8%	0.8%	1	1.6%	1.6%	2	1.1%	1.1%
15歳	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
16歳	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
17歳	0	0.0%	0.0%	1	1.6%	1.6%	1	0.5%	0.5%
不明	2	1.6%		0	0.0%		2	1.1%	
計	123	100.0%	100.0%	64	100.0%	100.0%	187	100.0%	100.0%

エ 虐待を受けた子どもの性別

虐待を受けた子どもの性別について、第5次から第12次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外及び心中による虐待死事例では、「男」54人(52.9%)、「女」48人(47.1%)とそれぞれ半数であった。

表8-2-10 子どもの性別 (精神疾患あり) (第5次から第12次報告までの累計)

区分	人数	構成割合
男	54	52.9%
女	48	47.1%
計	102	100.0%

オ 子どもの情緒・行動上の問題等

子どもの情緒・行動上の問題等について、第5次報告から第12次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が13人（有効割合38.2%）であり、そのうち「夜泣き」が8人と最も多かった。また、心中による虐待死事例では、「あり」が14人（同33.3%）であり、そのうち「衝動性」「かんしゃく」がそれぞれ6人と最も多かった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が25人（同28.1%）であり、そのうち「激しい泣き」が9人と最も多く、心中による虐待死事例では、「あり」が8人（同16.0%）であり、そのうち「多動」が4人と最も多かった。

表8-2-10-1 子どもの情緒・行動上の問題等（精神疾患あり）（複数回答）

（第5次から第12次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死 (41人)			心中による虐待死(未遂含む) (61人)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		21	51.2%	61.8%	28	45.9%	66.7%
あり		13	31.7%	38.2%	14	23.0%	33.3%
内訳 (複数回答)	ミルクの飲みムラ	1			1		
	激しい泣き	6			2		
	夜泣き	8			2		
	食事の拒否	0			0		
	夜尿	1			2		
	多動	2			5		
	衝動性	1			6		
	かんしゃく	4			6		
	自傷行為	1			2		
	性器いじり	1			1		
	指示に従わない	4			4		
	なつかない	1			1		
	無表情、表情が乏しい	1			1		
	固まってしまう	1			0		
	盗癖	0			1		
	虚言癖	1			1		
	不登校	1			0		
	その他	4			4		
	不明		7	17.1%		19	31.1%

表8-2-10-2 子どもの情緒・行動上の問題等 (精神疾患なし) (複数回答)

(第5次から第12次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死 (123人)			心中による虐待死(未遂含む) (64人)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		64	52.0%	71.9%	42	65.6%	84.0%
あり		25	20.3%	28.1%	8	12.5%	16.0%
内訳 (複数回答)	ミルクの飲みムラ	6			2		
	激しい泣き	9			2		
	夜泣き	6			2		
	食事の拒否	5			0		
	夜尿	7			2		
	多動	5			4		
	衝動性	2			2		
	かんしゃく	2			1		
	自傷行為	0			0		
	性器いじり	0			0		
	指示に従わない	5			3		
	なつかない	7			0		
	無表情、表情が乏しい	5			0		
	固まってしまう	1			0		
	盗癖	2			0		
	虚言癖	0			1		
	不登校	1			0		
	その他	4			2		
不明		34	27.6%		14	21.9%	

#### カ 支援者の有無等

支援者の有無等について、第5次報告から第12次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が35例(有効割合92.1%)であり、そのうち「配偶者」と「行政の相談担当課」がそれぞれ20例と最も多かった。また、心中による虐待死事例では、「あり」が37例(同97.4%)であり、そのうち「親」が20例と最も多かった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が82例(同73.2%)であり、そのうち「親」が52例と最も多く、心中による虐待死事例では、「あり」が35例(同94.6%)であり、そのうち「親」が20例と最も多かった。

表8-2-11-1 支援者の有無等 (精神疾患あり) (複数回答) (第5次から第12次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死 (40例)			心中による虐待死(未遂含む) (54例)		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		3	7.5%	7.9%	1	1.9%	2.6%
あり		35	87.5%	92.1%	37	68.5%	97.4%
内訳 (複数回答)	配偶者	20	/	/	14	/	/
	親	18			20		
	配偶者の親	10			5		
	虐待者のきょうだい	7			11		
	配偶者のきょうだい	3			0		
	近所の人	2			3		
	職場の友人・知人	0			1		
	保育所などの職員	7			10		
	ベビーシッター	1			0		
	行政の相談担当課	20			11		
	職場以外の友人	0			2		
	子育てサークル	0			0		
	親類	2			4		
	その他	3			3		
不明		2	5.0%		16	29.6%	

表8-2-11-2 支援者の有無等 (精神疾患なし) (複数回答) (第5次から第12次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死 (120例)			心中による虐待死(未遂含む) (49例)		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		30	25.0%	26.8%	2	4.1%	5.4%
あり		82	68.3%	73.2%	35	71.4%	94.6%
内訳 (複数回答)	配偶者	46	/	/	16	/	/
	親	52			20		
	配偶者の親	21			8		
	虐待者のきょうだい	16			5		
	配偶者のきょうだい	5			1		
	近所の人	4			2		
	職場の友人・知人	4			4		
	保育所などの職員	22			11		
	ベビーシッター	0			0		
	行政の相談担当課	37			10		
	職場以外の友人	9			0		
	子育てサークル	0			0		
	親類	7			3		
	その他	5			4		
不明		8	6.7%		12	24.5%	

#### ④ 関係機関の関与状況

関係機関の関与状況について、第5次報告から第12次報告までの累計でみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「児童相談所」の関与が20例（50.0%）、「市町村（虐待対応担当部署）」の関与が21例（52.5%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が32例（80.0%）であった。

心中による虐待死事例は、「児童相談所」の関与が12例（22.2%）、「市町村（虐待対応担当部署）」が16例（29.6%）であり、その他、「医療機関」が32例（59.3%）、「養育機関・教育機関」が31例（57.4%）であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例は、「児童相談所」、「市町村（虐待対応担当部署）」の関与が、各32例（26.7%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が67例（55.8%）、「医療機関」が53例（44.2%）であった。心中による虐待死事例は、「児童相談所」の関与が7例（14.3%）、「市町村（虐待対応担当部署）」が6例（12.2%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が31例（63.3%）、「養育機関・教育機関」が21例（42.9%）であった。

また、市町村関与の状況と虐待の認識について、第5次報告から第12次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では「市町村の関与あり」21例（52.5%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が7例、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」が8例、「虐待の認識はなかった」が6例であった。心中による虐待死事例では、「市町村の関与あり」16例（29.6%）のうち「虐待の認識はなかった」が7例であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では「市町村の関与あり」32例（26.7%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が15例であった。心中による虐待死事例では、「市町村の関与あり」6例（12.2%）のうち「虐待の認識はなかった」が5例であった。

表 8-2-1 2-1 関係機関の関与 **(精神疾患あり)**

(第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (40例)		心中による虐待死(未遂含む) (54例)		総数 (94例)		
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	
児童相談所	20	50.0%	12	22.2%	32	34.0%	
市町村(虐待対応担当部署)	21	52.5%	16	29.6%	37	39.4%	
その他の機関	36	90.0%	50	92.6%	86	91.5%	
内訳 (複数回答)	福祉事務所	12	30.0%	19	35.2%	31	33.0%
	家庭児童相談室	6	15.0%	12	22.2%	18	19.1%
	児童委員	7	17.5%	4	7.4%	11	11.7%
	保健所	13	32.5%	12	22.2%	25	26.6%
	市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	32	80.0%	26	48.1%	58	61.7%
	養育機関・教育機関	16	40.0%	31	57.4%	47	50.0%
	医療機関	29	72.5%	32	59.3%	61	64.9%
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	3	7.5%	4	7.4%	7	7.4%
	警察	12	30.0%	4	7.4%	16	17.0%
	婦人相談所	0	0.0%	1	1.9%	1	1.1%

表 8-2-1 2-2 関係機関の関与 **(精神疾患なし)**

(第5次から第12次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (120例)		心中による虐待死(未遂含む) (49例)		総数 (169例)		
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	
児童相談所	32	26.7%	7	14.3%	39	23.1%	
市町村(虐待対応担当部署)	32	26.7%	6	12.2%	38	22.5%	
その他の機関	100	83.3%	44	89.8%	144	85.2%	
内訳 (複数回答)	福祉事務所	27	22.5%	12	24.5%	39	23.1%
	家庭児童相談室	19	15.8%	6	12.2%	25	14.8%
	児童委員	10	8.3%	4	8.2%	14	8.3%
	保健所	15	12.5%	6	12.2%	21	12.4%
	市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	67	55.8%	31	63.3%	98	58.0%
	養育機関・教育機関	38	31.7%	21	42.9%	59	34.9%
	医療機関	53	44.2%	20	40.8%	73	43.2%
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	5	4.2%	4	8.2%	9	5.3%
	警察	18	15.0%	2	4.1%	20	11.8%
	婦人相談所	3	2.5%	0	0.0%	3	1.8%

表 8-2-13-1 市町村関与の状況と虐待の認識 (精神疾患あり)

(第 5 次から第 12 次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
		例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
市町村の関与なし		19	47.5%	38	70.4%	57	60.6%
市町村の関与あり		21	52.5%	16	29.6%	37	39.4%
内訳	虐待の認識があり対応していた	7	/	4	/	11	/
	虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	8		5		13	
	虐待の認識はなかった	6		7		13	
計		40	100.0%	54	100.0%	94	100.0%

表 8-2-13-2 市町村関与の状況と虐待の認識 (精神疾患なし)

(第 5 次から第 12 次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
		例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
市町村の関与なし		88	73.3%	43	87.8%	131	77.5%
市町村の関与あり		32	26.7%	6	12.2%	38	22.5%
内訳	虐待の認識があり対応していた	15	/	0	/	15	/
	虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	10		1		11	
	虐待の認識はなかった	7		5		12	
計		120	100.0%	49	100.0%	169	100.0%